

医療薬 日本医薬品集

第9版 (1985)

財団法人 日本医薬情報センター編



薬業時報社

不 許

複 製

コピー、磁気テープ、マイクロフィルム等
の作成、その他一切の複製はできません。

医療薬 日本医薬品集 ㉔

定価 17,300 円 (〒550 円)

第1版 昭和49年3月10日 発行
第2版 昭和50年8月10日
第3版 昭和51年10月20日
第4版 昭和52年12月1日
第5版 昭和54年3月20日
第6版 昭和56年12月5日
第7版 昭和58年3月20日
第8版 昭和59年7月25日
第9版 昭和60年7月1日 印刷
昭和60年7月6日 発行

編集 財団法人 日本医薬情報センター
代表者 久保文苗
株式会社 薬業時報社
発行人 武田正三

東京都千代田区神田神保町2-35番地
(北神ビル内) 郵便番号 101
電話 東京(03) 265-7751 (代表)
振替 東京 3-48320
大阪市東区道修町4-6-1番地
(新芝川ビル) 郵便番号 541
電話 大阪(06) 231-7061 (代表)

ISBN4-8407-1215-8 C3547

印刷 大日本法令印刷株式会社

初 版 の 序

医薬品に関する情報を取り扱うものにとって、まず第一に着手しなければならないのは、わが国に現存する医薬品についての正確にして網羅性のあるデータの収集であろう。それは国内に現実に流通している医薬品についての確実なデータを把握することなしには、せっかく進歩した医薬品を効果的に活用して医療の向上に役立てることはできないし、安全性を確保することもできないからであり、まして、さらにいっそうすぐれた医薬品の開発に踏み出して、新しい進歩にとりくむことはできない。

とはいっても、現在国内に流通している医薬品は、商品名別に数えると4万種類を越えるといわれている。もちろん、この中には医療用医薬品と一般用医薬品（家庭薬）とを含んでいるが、一般用医薬品に関するデータ（成分、含量等）といえども医療関係者にとって無縁のものではない。いずれにしても、このようなおびただしい種類の医薬品に関するデータを収集し、しかもたえず更新をはかりながら、利用しやすい形で管理しておくことはなみたいていの困難ではない。日本医薬情報センターが本書の編集を企図した理由は、上述のような目的に多少とも役立てばと考えたからである。

幸い当センターは、厚生省薬務局の好意と、関係各メーカーの協力を得て、国内のあらゆる医薬品の最新の添付文書等を常時収集、整理して保管することのできる立場に置かれているので、それらの貴重な資料を単に独占、死蔵することなく、医療関係者その他広く関係各方面に利用していただく目的で、とりあえず医療用医薬品のうちの重要なもの約8千余品目を選んで、その内容を抄録、整理、編集して出版することにした。近い将来引きつづき一般用医薬品に関するものもまとめて出版し、本書の姉妹編として利用していただきたいと考えている。

なお、現在は厚生省における医薬品再評価の作業が着々進行中であり、各医薬品の添付文書の内容がいちじるしく流動的であって、編集には困難をきわめたが、物理的に可能なかぎり最新の添付文書を情報源とするよう努力した。今後毎年1回改訂版を発行するつもりであるが、添付文書の内容が時々刻々に変化しつつある現時点で、最新の情報を知っていただくためにはそれでもなお不十分のそしりを免れない。これが従来の医薬品集に共通する宿命的な弱点であったともいえよう。そこで、

本書の利用者には毎年少なくとも1回は追補を作成してお届けしたいと考えている。本書に収載した医薬品の添付文書は当センターが実際に所蔵しているものであるから、その全文をご覧になりたい方には、実費程度でそのコピーをお送りすることが可能であるので、せいぜいご利用いただきたい。

本書の出版にあたっては、このように利用者の便を考えたアフター・サービスにも十分配慮しているから、今後利用者各位のご叱正をいただいて、わが国における標準的な医薬品集に育て上げていきたいと切に希望している。

本書の出版までには、監修者、編集委員諸氏をはじめ、それらの各所属機関の方々ならびに各方面の方々のなみなみならぬご協力をいただいた。これらのご協力に対して深甚な謝意を表わすものである。また、株式会社 薬業時報社社長 武田正三氏が、当センターの企画に対し終始深い理解を示され、労多くして当分は報われることの少ないであろう本書の出版を快く引受けてくださったことに厚く御礼を申し上げる。

昭和49年11月

財団法人 日本医薬情報センター

理事長 久保文苗

第9版の発刊に際して

このたび本年度版として第9版を発刊することができました。わずかこの1年の間にも、医薬品を取り巻く状況は刻々と変化し、その開発の進歩もめざましく、たとえば待望のインターフェロンが市場に出ることになるなど、これからも高度な技術を駆使した有用な医薬品の出現が続きそうです。また、この医薬品集の主な情報源である添付文書の内容や形体も新様式のものに大幅に変わりました。新様式の添付文書は、「医療の場で医薬品が適正に使用されるために必要な情報を提供する」という添付文書の目的に添い、記載の順序にもこの精神が生かされているようです。したがって、今版からできるだけこの新様式添付文書の記載順に準拠し、従来の「作用」欄を「注意」欄の後へ移しました。

医薬品に対する有用性と安全性、そして信頼できる最新の情報の入手が強く求められている現在、こうして版を重ね、この医薬品集が日常の医療の場で広くご利用いただいていることにかんがみ、その及ぼす影響の大きさと責任の重さを改めて痛感しております。今後とも、みなさまのご教示とご助言をいただき、さらに理想に近い医薬品集に育て上げる努力を続けるつもりです。よろしくお願いいたします。

第9版の主な改訂点：

- (1) 薬価基準収載医薬品は60年3月1日告示の新規医薬品まで収載した。
 - (2) 「医薬品再評価結果」は第23次(59年9月)公示分まで取り入れた。
 - (3) 各項目の記載順を新様式添付文書のそれに準拠し、「作用」欄を「注意」欄の後に移した。
 - (4) 付録の製剤識別コードの商品名の後に成分名を付記した。
 - (5) その他、厚生省の「医薬品副作用情報」、各社の添付文書等、当センターで60年6月1日現在入手している資料で、内容をできるだけ新しいものに改めた。
- 終わりに、今回もまたこの医薬品集の編集にご協力をいただき、快く資料を提供してくださいました関係各方面の方々に深い感謝の意を表します。

昭和60年6月

財団法人 日本医薬情報センター

理事長 久保文苗

本書をご利用いただく方へ

索引 (黄色ページ)

1. 五十音索引 (1～79 ページ)

索引名として次の5種類を取上げている。

①タイトル医薬品名

(例. インターフェロン- β …1125)

②該当商品名→タイトル医薬品名

(例. アネオール →
ケトプロフェン …… 321)

③基本医薬品名を先に出すいわゆる 裏起こし

(例. ドスレピン [塩酸] …1132)

④別名→タイトル医薬品名

(例. デルマトール →
次没食子酸ビスマス… 420)

⑤再評価名→タイトル医薬品名

(例. 胎盤加水分解物 →
ラエンネック…1073)

商品名ではいわゆる正式名称, 例えば, メレックス錠 0.5 mg, プロスタグランジン E₂ 錠「科研」から, 企業名, 含量等を省略し, メレックス, プロスタグランジン E₂ 錠として索引に出している。なお, 商品名で複数の剤形を持つもの (例. アレリックス 3 mg 錠, アレリックス 6 mg 錠, アレリックス 6 mg 注) は商品名の基本部分 (例. アレリックス) だけを索引名として取上げている。

このように五十音索引では, 和文医薬品名の場合どの部分からでも (一般名, 商品名, 基本名, 再評価名, 別名等) 検索できるよう配慮してある。

2. アルファベット索引 (80～129 ページ)

本文に記載されているすべての欧文医薬品名をアルファベット順に載せた。一般名, 化学名等は小文字で, 商品名は初めの1文字を大文字で記載し, 商品名と他を区別している。

(例. Aneol→ketoprofen…321)

3. 薬効別分類索引 (130～183 ページ)

「日本標準商品分類」の 81 の次の 3 桁により分類している。タイトル医薬品名の下にその該当商品名および会社名を記載し, 薬効分類からの表題医薬品名および該当商品名が一覧できるようにしている。なお, 商品名は基本名だけとし, 剤形名は省略した。

本文 (白色 1～1137 ページ)

1. 同一組成品は原則として, INN を主とした一般的名称等の統一名称でまとめ, 一般的名称の基本名の五十音順 (例. 塩酸パパペリン→ハハヘリン) に配列している。

2. 各項目は該当添付文書の内容を次の見出しでまとめている。

(a) 表題: 日本名と欧文名による医薬品名,

作用または適応を簡潔に表現したサブタイトル, 日本標準商品分類に準拠した薬効分類番号, 再評価済みのものにはⓈマーク, さらに商品名の場合には, 製造および発売企業名を記載している。

(b) [組成]: 剤形および成分含量, 原薬の性状等を, 注射剤では pH, 浸透圧比, 電解質組成, さらに熱量等も記載している。単位のパーセン

トは、特別な場合を除き、誤解を招かない範囲で、 $\%$ 、 $\%$ または $\%$ によるパーセントを、 $\%$ で表し、また、漢方製剤の（ ）内の処方、原料生薬の重量配合比を示している。

(c) [適応]：承認を受けている適応症（効能または効果）を記載している。再評価終了品は再評価判定結果に基づき、また、再評価未発表の日本薬局方医薬品は、薬学上一般的に認められているものに限って記載している。昭和42年のいわゆる基本方針以降に追加効能を得ているものは再評価判定結果の他に追記している。

なお再評価終了品の適応の①、②、③は特別な場合（ただし書き）を除き、原則として、①は実証適応、②は推定適応、③は追加適応と区別している。

漢方処方では、基準として、いわゆる210処方では取上げられたものの効能または効果を記載し、これ以外の適応を持つものは別に記載している。

(d) [用法]：承認を受けている用法・用量を記載している。[適応]と同様、再評価終了品は、再評価判定結果に基づいている。ただし、製剤により、成分含量、添加剤の有無またはその種類等の要因で、用法・用量が再評価判定結果の範囲より狭いものがある。

昭和42年のいわゆる基本方針以降に追加用法を得ているものは再評価判定結果の他に追記してい

る。なお、特別な記載がない場合、成人の通常用法・用量を記載し、記述を簡潔にするため「通常」とか「年齢、症状により適宜増減する」などの字句は省略している。

(e) [注意]：厚生省薬務局から示される「使用上の注意」および、各添付文書に記載されている注意事項のほか、貯法、有効期間、法的規制等を加えて一括して記載している。いわゆる「使用上の注意」は、簡潔にするため、「次の患者には投与しないこと」は「禁忌」に、「次の患者には慎重に投与すること」は「慎重投与」にそれぞれ置きかえており、「……(する) こと」等の字句は文章の意味が曲解されない範囲で一部省略し、また、「使用上の注意」のうち、筋注時の注意、アンプルカット時の注意等は割愛した。有効期間では、製品により期間の長短がある場合は、長い方を取上げた。

(f) [作用]：58年5月の厚生省薬務局通知「医療用医薬品添付文書の記載要領」による新様式添付文書によるものは、①薬効薬理、②体内薬物動態、③臨床適用（有効率、副作用等）、④非臨床試験（毒性、胎仔試験、周産期および授乳期投与試験等）を取上げ、旧様式によるものは従来通り、原薬の作用、臨床薬理、吸収・分布・排泄・代謝および急性毒性等を記載した。

(g) [製品] または [類品]：表題が一般名で記載されている項目には[製品]として該当する商品名、その欧文

名、剤形、含量、製造または輸入企業名、さらに発売が別な場合にはその後に発売企業名も加えて五十音順に記載している。表題が商品名で記載されている項目で、その製剤と、同一成分内容の他の商品がある場合には、[類品]として商品名(剤形)、メーカー名を五十音順に記載している。また、欧文名は商品名の末尾のアルファベットと区別するため、その基本名をイタリック体で記載している。

(h) [備考]: 製剤の一部に再評価があった場合、表題名と再評価名の異なる場合、薬価基準未収載医薬品である場合および提携会社がある場合等を記載している。

付 録 (水色ページ)

1. 商品名欧文一覧 (1139~1176 ページ)

商品名、(会社名)、欧文名の順とし、五十音順配列とし、商品名は煩雑を避けるため、原則として剤形等を除いた基本名だけにした。

2. 製剤識別コード (1177~1252 ページ)

索引: 会社コードのアルファベット順、その次に会社マークを五十音順に配列した。また、別に会社名を五十音順に配

列し、会社名からもそのコードまたはマークを検索できるようにしている。

本文: 会社コードのアルファベット順、次いで会社マークのものを会社名の五十音順に配列した。商品名に関しては、製品のコード番号順、アルファベット順に配列した。また、商品名のあとに「→○○○」としてその主成分を示した。

製品のコードは、製剤に直接印刷または刻印されてあるものを採用したが、包装にしか印刷のないものも*印を付けて記載した。なお、会社のコードまたはマークしかついていない製品も色、剤形等を付記して、その会社の欄に加えている。

会社コードまたは会社マークのない場合は、アルファベットまたは数字順に、同じ記号のものは色、剤形等を補足して一括して配列し、会社名を参考に記載した。

3. 製薬企業住所録 (1253~1262 ページ)

医療薬を製造、輸入または発売している企業の住所、電話番号を五十音順に記載している。

また、医薬品情報を扱う部門(DI窓口等)のある場合には、支店も含め、その担当部門名および電話番号も加えた。

[注] (1) 本書は「医薬品集」(Compendium)であって、いわゆる「能書集」(米国のPDRのような)ではありません。したがって実際に、ある医薬品をご使用になるとき、またはそれを取り扱われるときには、念のためその添付文書(能書)を必ずご覧ください。

(2) 本書の医薬品各項目に記載してある用法・用量や適応症などはあくまでもその医薬品を使用される医師のための参考に供したもので、医療の直接の責任者である医師の専門的裁量権までも規制するものでないことは申すまでもありません。

凡 例

本書は昭和60年6月1日現在、財団法人日本医薬情報センターが厚生省その他から入手し、所蔵している最新の医療用医薬品の添付文書を主な情報源として編集した。

1. 各項目は原則として同一組成品ごとに一カ所にまとめた。
2. 配列順序は一般名・商品名の別なく一括して基本名による五十音順に収載した。
3. 索引は五十音、アルファベットおよび薬効別の三種類とした。五十音索引では、一般名のうち“塩酸”“リン酸”，または製品名のうち“強力”“注射用”などではじまる商品名については、これらの接頭語等を省略しても検索できるよう正名と二カ所に掲載した。薬効別索引は日本標準商品分類に準拠し、該当商品名も基本名だけを五十音順に配列した。
4. 記載内容は次のように集約した。
 - (a) 表題：サブタイトル，タイトル（日本名および対応する欧文名），薬効分類番号（日本標準商品分類による81以下3ケタの番号），さらに商品名の場合はそのメーカー名を記した。再評価終了のものに関しては，㊟のマークを付けた。
 - (b) [組成]：成分含量および単一成分の場合はその性状を示した。ただし単位の％は誤解が予想される場合を除き，％， $\frac{1}{2}$ および $\frac{1}{4}$ を省略した。
 - (c) [適応]：商品名で記載のものは原則として医薬品添付文書に基づいて記載した。一般名記載のものと再評価結果公示のものは，それに合わせた。
 - (d) [用法]：特別の記載がない限り，成人の通常用法および用量を併記した。記述を簡潔にするため「通常」とか「年齢，症状により適宜増減」などの字句は省略した。
 - (e) [注意]：厚生省から示された「使用上の注意」および製薬各社で医薬品添付文書に記入してある注意事項のほか，貯法，有効期間，法的規制等を加え一括して記載した。
 - (f) [作用]：主成分の薬効薬理，体内薬物動態，臨床適用，非臨床試験等を記した。
 - (g) [製品]：項目の医薬品名が一般名で記載したものについては該当製品名を五十音順に列記した。
 - (h) [類品]：項目の医薬品名が商品名で記載したもので同じ組成を持つ他社の製品がある場合にそれを五十音順に列記した。
 - (i) [備考]：一般的備考事項のほか，昭和60年6月1日現在薬価基準未収載品にはその旨を記した。
5. 略号・符号：原末→㊟，散剤→㊠，細粒→㊡，丸剤→㊢，顆粒→㊣，錠剤→㊤，カプセル→㊦，シロップ剤→㊧，注射液→㊨，軟膏→㊩，坐剤→㊪，内服用→㊫，外用→㊬，液剤→㊭，再評価済→㊮，要指示医薬品→㊯，習慣性医薬品→㊰，局方品→㊱，劇薬→㊲，毒薬→㊳，麻薬→㊴，覚せい剤→㊵，覚せい剤原料→覚原

[注] (1) 前(Ⅰ～Ⅲ)ページ「本書をご利用いただく方へ」に各内容についてのさらに詳しい記載があります。ご参照ください。

(2) 医薬品の添付文書の内容は近年頻繁に変動するので，その医薬品を実際に使用する場合には，念のためその添付文書も必ずご覧ください。

目次

本書をご利用いただく方へ	I
凡例	IV
五十音索引	黄色ページ(1)
アルファベット索引	黄色ページ(80)
薬効別分類索引	黄色ページ(130)
本文	1
商品名欧文一覧	水色ページ1139
製剤識別コード	水色ページ1177
製薬企業住所録	水色ページ1253

五十音索引

【あ】

アイオナールナトリウム〔注射用〕→
 セコバルビタールナトリウム…… 482
 アイカス、-S→酪酸リボフラビン……1088
 アイカスF→フラビンアデニン
 ジスクレオチド…… 842
 アイカラジン→塩酸エカラジン…… 115
 アイシュリンカプセル→
 アンビジリン・クロキサシリン… 69
 アイセミド→フロセミド…… 892
 アイデイト錠→アロプリノール…… 63
 アイデイトロール→
 塩酸プロプラノロール…… 903
 IDU→イドクスウリジン…… 87
 アイトルラン→
 トリクロルメチアジド…… 645
 アイドロイチン点眼液→
 コンドロイチン硫酸ナトリウム… 344
 アイナロンS→ハロベドール…… 729
 I.B.→イブプロフェン…… 90
 アイベルD→塩化リゾチーム…… 165
 アイレチン→シタラビン…… 389
 アイロゾン→ラウリル硫酸
 プロピオン酸エリスロマイシン… 149
 アイロタイシン→エリスロマイシン… 147
 アイロラクトン→
 スピロラクトン…… 459
 アインソフト、-(幼児用)→
 ビサコジル…… 741
 アインダキシン、-RC→
 インドメタシン…… 104
 アウクロン錠→メフルンド……1046
 亜鉛華デンプン→酸化亜鉛…… 362
 亜鉛華・豚脂軟膏→酸化亜鉛…… 362
 亜鉛華軟膏→酸化亜鉛…… 362
 亜鉛華ユージオール・セメント…… 1
 アカベル錠→
 メチル硫酸ベボニウム…… 939
 アカミロフェニン〔塩酸〕…… 1
 アカメガシワエキス…… 1
 アキネトン→ベベリデン…… 771
 アギフトールS→グルタチオン…… 265
 アキヨシン錠→グルタチオン…… 265
 アギール→
 テオクル酸ジフェニルピラリン… 406
 アクオ-B、-Z→
 酢酸ヒドロキシコパラミン…… 755
 アクシリン〔注射用〕→
 アンビシリン・クロキサシリン… 69
 アクセノン→エトイソ…… 136
 アクセント錠→フロセミド…… 892
 アクタビックス→コバマミド…… 333
 アクタミン→塩酸アミン…… 549

アクタミン B₂ 散→
 リボフラビン……1088
 アクタミン B₂ 注射液→
 リン酸リボフラビンナトリウム…1089
 アクタミン B₆ 注射液→
 塩酸ピリドキシン…… 779
 アクタミンC→アスコルビン酸…… 7
 アクチット注…… 1
 アクチナミン→
 塩化カルプロニウム…… 159
 アクチノマイシンD…… 1
 アクチビン錠→
 チアミンジスルフィド…… 550
 アクチファン錠→
 フェンプロバメート…… 814
 アクチマイドカプセル→コバマミド… 333
 アクチムカプセル…… 2
 アクディーム→塩化リゾチーム…… 165
 アクデルマ軟膏→フルオシノニド… 847
 アクトシン→
 ブクラデシンナトリウム…… 820
 アクトラーゼ注→
 コカルボキシラーゼ…… 331
 アクトランC→ピロミド酸…… 786
 アクネローション→イオウ…… 73
 アクマイドカプセル→コバマミド… 333
 アクラシニン注射液→
 塩酸アクラルピシン…… 3
 アクラトニウム〔ナバジシル酸〕…… 2
 アクラルピシン〔塩酸〕…… 3
 アクリノール…… 4
 アクリノール・チンク油…… 4
 アグルミン→エタンシラート…… 127
 アクレチン錠→
 トリクロルメチアジド…… 645
 アクロマイシン→
 塩酸テトラサイクリン…… 610
 アクロマイシン塩基末→
 テトラサイクリン…… 610
 アクロマイシンVカプセル→
 塩酸テトラサイクリン…… 610
 アクロマイシンVシロップ→
 テトラサイクリン…… 610
 アコニンサン錠→加工ブシ…… 192
 アコパニール錠→ユビデカレノン…1059
 アザチオプリン…… 4
 アザニン錠→アザチオプリン…… 4
 アサメデール錠→
 塩酸エタフェノール…… 127
 亜酸化窒素…… 5
 アンクロビル……1123
 アシスターゼ…… 5
 アジビオドンメグルミン注射液…… 5
 アジマリソ…… 6
 アジマルリン錠→アジマリソ…… 6
 アジャストA錠→センナエキス…… 520
 亜硝酸アミル…… 7

アジリース、-D→ジビリダモール…… 402
 アス坐剤→アスピリン……12
 アズガスタン→スルピリド…… 463
 アスカルK錠→
 L-アスバラギン酸カリウム…… 11
 アスキッドC顆粒→デラキシ…… 616
 アスキット-D錠→L-アスバラギン酸
 カリウム・マグネシウム…… 11
 アスキラー→ナリジタス酸…… 670
 アスケート錠→
 L-アスバラギン酸カリウム…… 11
 アスゲン…… 7
 アスコター錠→
 フロプロピオン…… 904
 アスコネールE錠→
 酢酸メドロキシプロゲステロン…1038
 アスコルチン→アスコルビン酸…… 7
 アスコルチン顆粒→シナール…… 393
 アスコルビン酸…… 7
 アスコルビン酸・アスピリン…… 13
 アスコンプ→アルジオキサ…… 53
 アズサレン錠→アズレン…… 15
 アズゾール錠→メトロノゾール…1039
 アス・タージス錠→
 硫酸サルブタモール…… 360
 アスタール錠→
 塩酸オクスプレノール…… 183
 アスデロゾン→
 吉草酸ベタメタゾン…… 924
 アスト錠→トルブタミド…… 657
 アストキシン注→
 スルファジメトキシ…… 466
 アストフィリン…… 8
 アストブレン坐剤→アスピリン…… 12
 アストマ錠→
 クエン酸カルベタベンタン…… 216
 アストーマカプセル…… 8
 アストマトップ→
 クエン酸カルベタベンタン…… 216
 アストママジット→
 ジプロフィリン…… 413
 アストマモール錠→
 硫酸サルブタモール…… 360
 アストミ細粒→臭化水素酸
 デキストロメトर्फアン…… 595
 アストマーリン→
 塩酸クロルブレナリン…… 303
 アストミン→リン酸ジメモルファン… 419
 アストモリジシ坐薬→
 ジプロフィリン…… 413
 アストモリジシ-D、-M…… 9
 アスドリン…… 9
 アストレメジン…… 10
 アストロマイシン〔硫酸〕……1123
 アストーン→
 塩酸クロルブレナリン…… 303
 アスナロン…… 10

2 アスノ

アスノーマル錠→		アゼジバミン注射液→ジアゼパム	366	アデノシン三リン酸二ナトリウム	25
塩酸クロルブレナリン	303	アセスA	17	アデナロン→カルバゾクロム	
アズノール→アズレン	15	アセタゾラミド	17	スルホン酸ナトリウム	212
アズノレン錠→アズレン	15	アセタゾールアミド錠→		アデニン	24
アスパミン錠→		アセタゾラミド	17	アデニン〔リン酸〕→アデニン	24
塩酸クロルブレナリン	303	アセタノール→		アテネコリン-M→	
アスパラ→L-アスパラギン酸		塩酸アセプトロール	22	臭化メベンゾラート	436
カリウム・マグネシウム	11	アセタモックス→アセタゾラミド	17	アテネジン→塩酸アマンタジン	35
アスパラ-CA→		アセチルキタサマイシン	18	アテネゾール→アセタゾラミド	17
L-アスパラギン酸カルシウム	12	アセチルコリン〔塩化〕	154	アテネノール→	
アスパラK→		アセチルサリチル酸→アスピリン	12	塩酸アルブレノロール	57
L-アスパラギン酸カリウム	11	アセチルシステイン	18	アテネミン錠→	
アスパラギナーゼ〔L-〕	10	アセチルスピラマイシン	19	ビリジノールカルバメート	777
アスパラギン酸塩錠〔複合、複方〕→		アセチルスルファメトキサゾール	19	アテネラート→ニフェジピン	682
L-アスパラギン酸カリウム・		アセチルロイコマイシンSシロップ→		アテネレン錠→アズレン	15
マグネシウム	11	アセチルキタサマイシン	18	アテネン→	
アスパラギン酸カリウム〔L-〕	11	アセチン液→		アデノシン三リン酸二ナトリウム	25
アスパラギン酸カルシウム〔L-〕	12	アセチルシステイン	18	アテネントール→	
アスパロノカプセル	12	アセトアミノフェン	20	アネトールトリチオン	30
アスピゾン→		アセトヘキサミド	21	アデノP→	
ジクロフェナクナトリウム	376	アセノール錠→ニコモール	676	アデノシン三リン酸二ナトリウム	25
アスピリコール→		アゼバミット→メダゼパム	1009	アデノシン三リン酸	
塩酸メチルシステイン	1018	アセプトロール〔塩酸〕	22	アデノシン三リン酸二ナトリウム	25
アスピリン	12	アゼボミール→		アデノック錠→アロプリノール	63
アスピリン・アスコルビン酸	13	ビリジノールカルバメート	777	アデノホルリン錠→	
アスピリンアルミニウム	14	アセメタシン	23	アデノシン三リン酸二ナトリウム	25
アスピリンアルミニウム・		アゼリンカプセル→ニフェジピン	682	アテノロール	25
フェナセチン・カフェイン・		アゾガート→塩酸ヒドララジン	750	アデフラビン→	
マレイン酸クロルフェニラミン		アゾテシン点眼液→アズレン	15	フラビンアデニンジスクレオチド	842
配合剤→ビベチン	768	アダックス→パラプロスト	722	アデプレス錠→	
アスピリンDL-リジン	14	アダックミン錠→		塩酸アミトリプチリン	38
アスピロン→L-アスパラギン酸		塩酸ホモクロルシクリジン	969	アデフロニック→	
カリウム・マグネシウム	11	アダナルカプセル→		ジクロフェナクナトリウム	376
アズフォネート→アズレン	15	ニフェジピン	682	アデホス,-L→	
アスブール液→		アダバニン〔強力〕→ラクトミン	1074	アデノシン三リン酸二ナトリウム	25
塩酸イソブレナリン	85	アダブチノール→ヘレニエン	948	アデマイド→コバマミド	333
アズプロ錠→アズレン	15	アダブレン→塩酸エカラジン	115	アテマロールカプセル→	
アスぺイン→アセトアミノフェン	20	アタラックス,-P注射液→		クロフィブラート	277
アスベリン→		塩酸ヒドロキシジン	753	アダラジッド錠	26
ヒベンズ酸チベピジン	567	アタラックス-P〔内服〕→		アダラビン(7~9号)	26
アズマック→アズレン	15	パモ酸ヒドロキシジン	753	アテリオジン錠→	
アスミドン・エアー→		アダラート,-L→ニフェジピン	682	ベントキシフィリン	956
硫酸サルブタモール	360	アタリスD→		アデリール→エビデカレノン	1059
アスミンコール→サリドン	356	マレイン酸クロルフェニラミン	301	アデロキザール→	
アスモロール→		アダルトミン錠→		リン酸ビリドキサル	779
ヤンヤンプラスター,-ホット	1057	スピロノラクトン	459	アデロキシン,-〔強力〕→	
アスラギンカプセル→		アチロン→テガフル	578	塩酸ビリドキシン	779
メフェナム酸	1044	アーツェー→カルバゾクロム		アデロキシンカルシウム注射液	27
アズラビン→アズレン	15	スルホン酸ナトリウム	212	アデロミンP→	
アズレン	15	アップサ→塩酸トルベリゾン	658	リン酸ビリドキサル	779
アズレンG→含嗽用ハチアズレ	715	アテオロン→ダイズ油不けん化物	534	アーテン,-S.R.→	
アズレンスルホン酸ナトリウム→		アデコン末	24	塩酸トリヘキシフェニジル	650
アズレン	15	アデシノンP→		アテンション錠→レシナミン	1099
アズレンゾルG→アズレン	15	アデノシン三リン酸二ナトリウム	25	アドカル→カルバゾクロム	212
アスロ錠→		アデスタンクリーム→		アドクロリン錠→カルバゾクロム	
デキストラン硫酸ナトリウム	594	硝酸イソコナゾール	81	スルホン酸ナトリウム	212
アズロゲン錠→ロラゼパム	1116	アデストルミン→メコパラミン	1005	アドコルチン→ハルシノニド	724
アスロSC→		アダタイド腸溶錠→		アトサネール錠→塩酸レセルビルン	
塩酸メチルシステイン	1018	アデノシン三リン酸二ナトリウム	25	酸ジメチルアミノエチル	1100
アセグラトン	16	アダトライ→		アトジール錠→塩酸メチキセン	1013
アセグルタミドアルミニウム	17			アドシオン→アデニン	24

アドステルAC→カルバゾクロム スルホン酸ナトリウム…………… 212	アナゾン注 20…………… 29	アブシード→スルファジメトキシソ… 466
アトステリン→ クロフィブラート…………… 277	アナテナジンデボー→ エナント酸フルフェナジン…………… 861	アフタゾロン〔歯科用(口腔用)〕→ デキサメタゾン…………… 581
アドステロール-I 131注射液→ ヨウ化メチルノコレステノール (¹³¹ I)…………… 1065	アナテンゾール錠→ 塩酸フルフェナジン…………… 862	アフタッチ→ トリウムシノロンアセトニド…………… 638
アドスルホン注射液→カルバゾクロム スルホン酸ナトリウム…………… 212	アナテンゾールデボー→ エナント酸フルフェナジン…………… 861	アブテシカプセル→ リファンピリン…………… 1087
アドソルビン→ 天然ケイ酸アルミニウム…………… 310	アナトラン錠→ トリクロルメチアジド…………… 645	アブテルン錠→メトクロプラミド…………… 1029
アドソルボカルビン→ 塩酸ピロカルビン…………… 784	アナドロール錠→オキシメトロン…………… 181	アフトフル、-N→テガフル…………… 578
アドゾン末→カルバゾクロム…………… 212	アナナーゼ→プロメライン…………… 910	アブドルミン→塩酸エチレフリン…………… 133
アドナ→カルバゾクロム スルホン酸ナトリウム…………… 212	アナビオール注射液→ ジプロピオン酸ボランジオール…………… 971	アブドミン→塩酸ヒドララジン…………… 750
アドナミンC→カルバゾクロム スルホン酸ナトリウム…………… 212	アナフラニール→ 塩酸クロミプラミン…………… 292	アブライド錠→塩酸エカラジン…………… 115
アドニン-O→ オキシトシン注射液…………… 176	アナボ注→ シクロヘキシルプロピオン酸 ナンドロロン…………… 671	アブラクタン→シンナリジン…………… 447
アドバゾン散→カルバゾクロム…………… 212	アナルサ…………… 29	アフラミン錠→アロプリノール…………… 63
アドバゾン錠→カルバゾクロム スルホン酸ナトリウム…………… 212	アナロック錠→メビゾール…………… 1043	アブリノール錠→アロプリノール…………… 63
アドビオール錠→ 塩酸ブフェトール…………… 830	アニスタジン→ トリクロルメチアジド…………… 645	アブレキサールカプセル→ シンナリジン…………… 447
アトピラジン錠→ 塩酸エブラジノン…………… 143	アニス→マF…………… 29	アブレジン→塩酸ヒドララジン…………… 750
アドビルン→ アスピリン・アスコルビン酸…………… 13	アニソトロピン(臭化メチル)…………… 435	アブレゾリン→塩酸ヒドララジン…………… 750
アドピロン錠…………… 27	アニミングシロップ→ マレイン酸クロルフェニラミン…………… 301	アフレラジン→塩酸ヒドララジン…………… 750
アドピロン顆粒→ スクラルファート…………… 452	アニル→メS→ アセトアミノフェン…………… 20	アフロクェロン…………… 31
アトプチン→塩酸アミトリプチリン…………… 38	アネオール坐剤→ケトプロフェン…………… 321	アプロチニン…………… 31
アトミラート→ニコモール…………… 676	アネキサン注→トラネキサム酸…………… 632	アプロパール→ 塩酸アルブレノロール…………… 57
アトミンS→ クエン酸カルベタペンタン…………… 216	アネソキシソ…………… 30	アベタイトン錠→ 塩酸エチルシステイン…………… 131
アトムラチン注→塩酸ロベリン…………… 1115	アネックス-50→アネソキシソ…………… 30	アベダイン→塩化カルニチン…………… 158
アトモスゲンS→塩酸トルペリソ…………… 658	アネトールトリチオン…………… 30	アベバミン→ アデノシン三リン酸二ホトリウム…………… 25
アトモラン→グルタチオン…………… 265	アネフィリン注射液(静注用)→ アミノフィリン…………… 40	アベマイド錠→クロルプロバミド…………… 304
アトラキシソ→メプロバメート…………… 1047	アネフィリンM注〔筋注用〕→ ジプロフィリン…………… 413	アベミン錠→トルブタミド…………… 657
アトランチール錠→ 塩酸エチレフリン…………… 133	アネロカル点眼液→ 塩酸オキシプロカイン…………… 178	アベリー→塩酸チアミン…………… 549
アトランチン→ジビリダモール…………… 402	アノブロン錠→アロプリノール…………… 63	アベルドール錠→ 塩酸エカラジン…………… 115
アドリアシ注→ 塩酸ドキシソルビン…………… 624	アバカン注射液→ 塩酸アカミロフェニン…………… 1	アベレットBTカプセル…………… 32
アドリーズ→ジビリダモール…………… 402	アバニール→アスピリン…………… 12	アヘン…………… 32
アトリプター錠→ 塩酸アミトリプチリン…………… 38	アバミン→プロベリシアジン…………… 906	アヘンアルカロイド〔塩酸〕…………… 33
アドレクロス→カルバゾクロム スルホン酸ナトリウム…………… 212	アバンユウ坐剤→インドメタシン…………… 104	アヘンアルカロイド・アトロピン注射 液…………… 33
アドレス→カルバゾクロム…………… 212	アビアンズ→カルバゾクロム スルホン酸ナトリウム…………… 212	アヘンアルカロイド・スコボラミン注 射液…………… 34
アドレノクロムグアニルヒドラゾン 〔メシル酸〕…………… 27	アビタインK…………… 31	アヘン・トコ散…………… 34
アドレノクロムモノアミノグアニジン メタンスルホン酸塩→メシル酸ア ドレノクロムグアニルヒドラゾン…………… 27	アビターゼ…………… 31	アボキナーゼ→ウロキナーゼ…………… 111
アトロピン〔臭化メチル〕…………… 435	アビタート→アモキシシリン…………… 46	アボセルビン→ブrossシラリジン…………… 891
アトロピン〔硫酸〕…………… 28	アビノラクトン→ スピロラクトン…………… 459	アボセルビン→シ克蘭デレート…………… 374
アトロベント→ 臭化イプラトロピウム…………… 423	アピラコール→塩酸エカラジン…………… 115	アボタツクス錠→ スピロラクトン…………… 459
アナコリン→ヨウ化ジフェニルベリ ジノメチルジオキソラン…………… 1062	アピリット→スルビリド…………… 463	アボテリンA→クロフィブラート…………… 277
アナシリン錠→ナリジクス酸…………… 670	アピロジャスト→ アルクロフェナック…………… 51	アボテリンS→レシナミン…………… 1099
	アフエナート錠→ 硫酸サルブタモール…………… 360	アボトミン→シンナリジン…………… 447
	アフゴ→カプセル→アンピシリン・ ジクロキサシンナトリウム…………… 70	アボナ→ゼ錠→ セラベプターゼ…………… 516
	アブコラジン→塩酸ヒドララジン…………… 750	アボナールS・カプセル→ ゲファルナート…………… 324
	アブコソ→スルファジメトキシソ…………… 466	アボニー散→クロフェナミド…………… 281
	アブサタンカプセル→シンナリジン…………… 447	アボニン錠→ トリクロルメチアジド…………… 645
		アボノール錠→ 酒石酸イフェンプロジル…………… 89
		アボビスカプセル→ ナバジシ酸アクラトニウム…………… 2
		アボフィリン錠→ ベントキシフィリン…………… 956

4 アホフ

アリMエキス散(太虎堂の)→	
三黄瀉心湯	362
アリサゲンF→	
チアミンジスルフィド	550
アリシドン錠→塩酸チアラミド	551
アリスメット→アロプリノール	63
アリーゼ-A, -F	48
アリゾフェン錠→サリドン	356
アリゾン錠→	
メシル酸ジヒドロエルゴトキシシン	400
アリチア注→チアミンジスルフィド	551
アリチアN	48
アリチアロン錠→	
セイヨウトチノキ種子エキス	479
アリチラーゼ[注射用]→	
コカルボキシラーゼ	331
アリナキシンN注射液	
硝酸チアミンジスルフィド	551
アリナミン注射液→	
プロスルチアミン	891
アリナミンF→フルスルチアミン	855
アリネートF注→	
チアミンジスルフィド	550
アリビオ注→塩酸チアミン	549
アリビセロ錠→メビゾール	1043
アリブロイド錠→	
ヨウ化オキサピシム	1061
アリミックス→アンピシリン	
ジクロキサシンナトリウム	70
アリメジン→酒石酸アリメマジン	48
アリメマジン[酒石酸]	48
アリルエストレノール	49
リリタン錠→メチクラン	1013
アールエス→シクランデレート	374
アルキサ→アルジオキサ	53
アルキサ軟膏→アルクロキサ	51
アルギニン[塩酸L-]	49
アルギニン[グルタミン酸]	49
アルギニン注→	
塩酸L-アルギニン	49
アルギニングルタメート→	
グルタミン酸アルギニン	49
アルギメート→	
グルタミン酸アルギニン	49
アルキル化人免疫グロブリン	283
アルキルポリアミノニチルグリシン	50
アルギン酸ナトリウム	50
アルクロキサ	51
アルクロニウム[塩化]	155
アルクロフェナール	51
アルゲナート→ゲファルナート	324
アルケラン錠→メルフェラン	1051
アルサ, -G→アルジオキサ	53
アルサ→オキシロン	52
アルサス錠→	
フマル酸クレマスチン	269
アルサニール→ゲファルナート	324
アルサネートカプセル→	
ゲファルナート	324
アルサフィリン	53
アルサリドール錠→スルピリド	463
アルサルミシン→スクラルファート	452
アルジオキサ	52

アルスコット→塩酸ベンジダミン.....	949	アルミノパラアミノサリチル酸		アロデーム→	
アルセチン→インドメタシン.....	104	カルシウム.....	58	プロピオン酸ベクロメタゾン.....	916
アルダクトンA→スピロラクトン.....	459	アルミワイス→		アロドックC錠→	
アルチボン錠→スピロラクトン.....	459	合成ケイ酸アルミニウム.....	310	クロルプロバミド.....	304
RDE(乾燥).....	54	アルメジステン錠→		アロニクスS→ニフェジピン.....	682
アルデシン→		メシル酸ジメトチアジン.....	419	アロピジン→アルクロフェナック.....	51
プロピオン酸ベクロメタゾン.....	916	アルメジール錠→		アロフト→アフロクアロン.....	31
アルテス→メリナミド.....	1049	フマル酸クレマスチン.....	269	アロプリノール.....	63
アルテパロン→		アルメトシン錠→		アロプレックス→アロプリノール.....	63
ムコ多糖体多硫酸エステル.....	999	アルクロフェナック.....	51	アロリン錠→アロプリノール.....	63
アルテレート→クロフィブラート.....	277	アルメルドライシロップ→		アロレンタンカプセル→	
アルト→アルギン酸ナトリウム.....	50	フルオロウラシル.....	850	塩酸アルブレノロール.....	57
アルトサミン細粒→		アルラント顆粒→アルジオキサ.....	53	アロンアルファA.....	64
スクラルファート.....	452	アルロイド,-G→		アロンビンカプセル→	
アルトシン→トルブタミド.....	657	アルギン酸ナトリウム.....	50	ジクロフェナクナトリウム.....	376
アルドナゾン→カルバゾクロム		アルローゼ→		アンギオグラフィン→	
スルホン酸ナトリウム.....	212	アルギン酸ナトリウム.....	50	アミドリゾ酸メグルミン注射液	37
アルドメット→メチルドバ.....	1020	アレキサン錠→		アンギオコンレイ注→	
アルトロソ.....	54	スピロラクトン.....	459	イオタラム酸ナトリウム注射液...	74
アルバプロール錠→		アレステン錠→メチクラソ.....	1013	アンギナール→ジビリダモール.....	402
塩酸アルブレノロール.....	57	アレスト→		アンコチル→アルシトシン.....	855
アルパメド→スピロラクトン.....	459	フマル酸クレマスチン.....	269	アンコマー→	
アルピナ坐剤→アミノフィリン.....	40	アレビアチン→		グルタミン酸ナトリウム.....	267
アルビニ→坐剤→		フェニトイン,-ナトリウム.....	799	アンサチン錠→フルフェナム酸.....	863
アセトアミノフェン.....	20	アレビアチン錠[複合].....	815	アンシタピン[塩酸].....	65
アルビロン錠→		アーレフ→フルフェナム酸.....	863	アンジトン錠→	
アスピリンアルミニウム.....	14	アレベール→チロキサポール.....	572	塩酸プロプラノロール.....	903
アルファカルシドール.....	54	アレミタル→クロルメザノン.....	308	アンジーフ→アロプリノール.....	63
α-シアノアクリレートモノマー→		アレリックス→ビレタニド.....	781	アンズミン→塩酸ジフェニドール.....	404
アロンアルファA.....	64	アーレル→		アンセブロン錠→	
アルファミン→		塩酸ホモクロルシクリジン.....	969	フェンプロバメート.....	814
フマル酸クレマスチン.....	269	アレルギン散→		安息香酸.....	65
アルファロール→		マレイン酸クロルフェニラミン...	301	安息香酸エステルジオール.....	120
アルファカルシドール.....	54	アレルゲンエキス.....	59	安息香酸酢酸エストリオール.....	124
アルフィブレート→		アレルゲンエキス[診断用, 治療用]→		安息香酸二酢酸エストリオール→	
クロフィブラートアルミニウム...	278	アレルゲンエキス.....	59	安息香酸酢酸エストリオール.....	124
アルフェナジンカプセル→		アレルゲンエキス対照液.....	61	安息香酸ナトリウム.....	65
アルクロフェナック.....	51	アレルゲンスクラッチエキスを→		安息香酸ナトリウムカフェイン.....	65
アルフォナード→		アレルゲンエキス.....	59	アンタゴサン→アプロチニン.....	31
カンシル酸トリメタファン.....	653	アレルゲンスクラッチエキス対照液...	61	アンタックス→リン酸	
アルブチン→ウワウルシ.....	113	アレルゲン治療エキスを希釈液...	61	ヒドロコルチゾンナトリウム.....	763
アルブミネート→加熱人血漿蛋白.....	320	アレルゲンディスクハウスダスト,		アンダノール→塩酸レセルビルリン酸	
アルブミン→人血清アルブミン.....	55	-ブタクサ花粉.....	61	ジメチルアミノエチル.....	1100
アルブミン[人血清].....	55	(アレルゲン)パッチテスト試薬.....	62	アンダーム→ブフェキサマック.....	829
アルブミン→アルファ→		(アレルゲン)無菌空バイアル.....	63	アンタロン→メスタノロン.....	1006
人血清アルブミン.....	55	アレルコン→		アンダント→エビデカレノン.....	1059
アルブラゾラム.....	56	マレイン酸クロルフェニラミン...	301	アンダントール→	
アールブリン→抗ヒトリンパ球		アレルトンL→		塩酸イソチベンジル.....	82
ウマ免疫グロブリン.....	287	アレルゲンエキスを→		アンチクレイン注→アプロチニン.....	31
アルブレノロール錠→		アレルミンシロップ→		アンチコ散T→	
塩酸アルブレノロール.....	57	塩酸ジフェニヒドラミン.....	407	クロフェドリンS.....	281
アルブレノロール[塩酸].....	57	アロアスク→滅菌凍結乾燥豚皮.....	663	アンチース→	
アルブスタジール.....	57	アロアスクD→		クエン酸カルベタベンタン.....	216
アルボラート→シンフィブラート.....	449	滅菌凍結乾燥豚真皮.....	663	アンチセンカプセル→	
アルマトール錠→スピロラクトン.....	459	アロエ.....	63	シクランデレート.....	374
アルマソール→アルギン酸ナトリウム.....	50	アロギナン錠→		アンチニン錠→	
アルミゲル細粒→		フマル酸クレマスチン.....	269	ビリジノールカルバメート.....	777
乾燥水酸化アルミニウムゲル.....	451	アロントール→アロプリノール.....	63	アンチバリン注射用→	
アルミニウムクロロヒドロキシアラ		アローゼン.....	63	セファリンナトリウム.....	491
ントイネート→アルクロキサ.....	51	アロチン錠→アロプリノール.....	63	アンチバール→	
アルミノニッパスカルシウム顆粒→		アロク錠→アロプリノール.....	63	ビリジノールカルバメート.....	777
アルミノパラアミノサリチル酸		アロテック→		アンチビオフィルス細粒→	
カルシウム.....	58	硫酸オルシブレナリン.....	189	耐性乳酸菌.....	686

6 アンチ

アンチホルミン〔歯科用〕→	
次亜塩素酸ナトリウム	365
アンチモニウム	
〔酒石酸ナトリウム〕	66
安中散	66
安中散料エキス-A, -M→安中散	66
アンチエドール→安中散	66
アンチレクス→	
塩化エドロホニウム	156
アンソラン錠→	
スルフィンピラゾン	472
安定性トリビュール→トリブシン	648
アンデサン錠→	
アデニン三リン酸二ナトリウム	25
アントフェノン→ケトプロフェン	321
アンドラン→イブプロフェン	90
アントリプチン錠→	
フマル酸クレマスチン	269
アントル→塩酸ベンジダミン	949
アンドロクル錠→	
酢酸シプロテロン	413
アンドロン錠→メスタノロン	1006
アントワール→ジビリダモール	402
アンナカ注→	
安息香酸ナトリウムカフェイン	65
アンビクロックス→	
アンピシリン・クロキサシリン	69
アンピシリン	67
アンピシリン・C→	
アンピシリン	67
アンピシリン・オキサシリン	68
アンピシリン・クロキサシリン	69
アンピシリン	
ジクロキサシリンナトリウム	70
アンピシリンナトリウム→	
アンピシリン	67
アンピシリンフタリジル〔塩酸〕→	
塩酸タランピシリン	540
アンピシリン・ママレット→	
アンピシリン	67
アンヒスタン→	
フマル酸クレマスチン	269
アンヒバ→セトアミノフェン	20
アンビレクト坐剤→アンピシリン	67
アンフラゲン→イブプロフェン	90
アンフラーゼL→	
塩化リゾチーム	165
アンフ라마イド→フロセミド	892
アンブラン→プロベリシアジン	906
アンブリット錠→	
塩酸ロフェブラミン	1114
アンプロキソール〔塩酸〕	70
アンペクト→ニフェジピン	682
アンベノニウム〔塩化〕	155
アンモニア・ウイキョウ精	71
アンモニア銀	71
アンモニア水	71
アンモニア水・ウイキョウ油配合剤→	
アンモニア・ウイキョウ精	71

【い】

EA錠→	
アスピリン・アスコルビン酸	13
E. A. C錠→	
アスピリン・アスコルビン酸	13
イエスチーム錠	72
イエスドール錠→	
塩酸ジフェニドール	404
ESポリタミン顆粒	72
ESポリタミン注射液〔3%・10%〕→	
総合アミノ酸製剤	522
EL	72
EL-1号→開始液	192
EL-2号, -3号, -F 3号→維持液	79
EL-3号〔10%〕, -4号, -4号〔10%〕	
→EL	72
EL-H→乳酸リンゲル液	687
イーエル-S→	
ソルビトール加乳酸リンゲル液	688
EL-レフラック	72
イオウ	73
イオウ・カンフルローション	73
イオウ・dl-カンフル配合剤→	
イオウ・カンフルローション	73
イオウ・サリチル酸	
チアントール軟膏	73
イオカルム酸メグルミン	73
イオタラム酸ナトリウム注射液	74
イオタラム酸メグルミン注射液	75
イオトロクス酸→	
イオトロクス酸メグルミン	76
イオトロクス酸メグルミン	76
イオパノ酸	77
イオビドール・イオビドン配合剤→	
ハイトラスト	708
イオブラン錠→	
トリクロルメチアジド	645
イオベンザム酸	77
イオボダートナトリウム	78
E型ボツリヌス抗毒素〔乾燥〕→	
乾燥ボツリヌス抗毒素	966
イカルス, -E→テガフル	578
イグサイン-G顆粒	78
イクソナルカプセル→	
テガフル	578
イクタモール	78
イクタモールホウ酸亜鉛華軟膏	78
イクタモールボチ→	
イクタモールホウ酸亜鉛華軟膏	78
イゲシン坐剤→インドメタシン	104
E・コハク錠→コハク酸	
トコフェロールカルシウム	625
イザナミン→	
塩酸トリメトキノール	654
イサミック→	
フマル酸ベンシクラン	949
イサロバン→アルクロキサ	51
イサロン→アルジオキサ	53
EC錠2号→	

アスピリン・アスコルビン酸	13
維持液	79
イシスノーン→シクランリン	373
イーシー・ドパール錠→	
レボドパ・塩酸ベンセラジド	1106
イジロンV軟膏→	
吉草酸ベタメタゾン	924
イスコチン→イソニアジド	83
イスジリン→インシュリン	95
イスハート→ビンドロール	789
イスプロミン, -デボー→	
EPホルモン	88
イスボール注射液〔5%, 12%〕→	
総合アミノ酸製剤	522
イスボールS注射液	79
イスメリン→硫酸グアナチジン	241
イセイハップ	80
イセコバミン注→メコバラミン	1005
イセストラン錠→	
トリクロルメチアジド	645
イセチオン→グルタチオン	265
イセチーム→	
塩化リゾチーム	165
イセドール錠→	
塩酸ジフェニドール	404
イセナロン錠→	
メシル酸ベタヒスチン	921
イセファニン錠→ジビリダモール	402
イセラゼ散→	
β-ガラクトシダーゼ	204
イソアミニル〔クエン酸〕	80
イソカルビン→塩酸ピロカルピン	784
イソカルム錠→塩酸トルベリゾン	658
イソキサール錠→	
クエン酸ベリソキサール	943
イソクスブリン〔塩酸〕	80
イソコナゾール〔硝酸〕	81
イソシリン→アンピシリン	67
イソジン→ポビドンヨード	967
イソゾール→	
チアミラールナトリウム	548
イソソルビド	81
イソソルビド〔硝酸〕	82
イソダール錠→	
塩酸ジフェニドール	404
イソチベンジル〔塩酸〕	82
イソニアジド	83
イソニアジドグルクロン酸	
ナトリウム	84
イソニアジドビルビン酸カルシウム	84
イソニアジドメタンスルホン酸	
ナトリウム	84
イソバイド→イソソルビド	81
イソパル-P	84
イソフェンインシュリン	
水性懸濁注射液	96
イソブレナリン〔塩酸〕	85
イソブレナリン〔硫酸〕	86
イソプロ→イソプロパノール	86
イソプロアルコール→	
イソプロパノール	86
イソプロテノール〔塩酸〕→	
塩酸イソブレナリン	85